

# 名胡桃の城

令和7年  
遊人舎

## 納涼会

納涼会を行いました。

くじ引きや射的をしたり、かき氷を食べたりして、

夏ならではの雰囲気を楽しみました。

特に射的は大盛り上がり♪

見事当たると「すごい！」と拍手や歓声があがっていました。

笑顔いっぱい、賑やかで楽しいひとときとなりました。



## 壁画作り

折り紙で作った色とりどりのハスの花と、お裁縫で作った可愛らしい金魚が泳ぐ壁画が完成しました。夏らしい涼やかな作品です。

「涼しいいいね」「金魚が小さくて可愛いね」と皆さん笑顔でお話されていました。

壁画を飾ったフロアは、一層明るく華やかになりました。



## お知らせ 9月のイベント



バーベキュー



矢瀬公園散策

## 小濱道博先生に訊く

2027年は介護事業にとって、これまでの常識を覆すほどの大きな変革が同時に押し寄せる「トリプルインパクト」の年となります。三つの衝撃、すなわち介護報酬改定、労働基準法の大改正、そして技能実習制度に代わる育成就労制度の開始は、介護事業の経営、働き方、そして人材戦略を根本から見直すことを迫るでしょう。さらに+aとしての介護DXのスタートです。ケアプラン情報連携システムも組み込まれて利用が必須となります。このインパクトに備えるためには、地域での事業者同士の協働化とICTの推進は避けては通れない潮流です。それを持続可能な形で実装するためには人材の多様性を受け入れ、包摂するDE&Iの視点が不可欠です。その潮流に乗り遅れないためには、外国人材を負担なく受け入れられる仕組みと、事業者グループという共同体モデルが必要となるでしょう。介護事業の未来は、制度やテクノロジーだけでなく、それを活かし、多様な人材を尊重し、成長し合う組織文化を育むことで築かれます。2027年という節目を、単なる試練としてではなく、介護事業が次なるステージへと飛躍するための絶好の機会と捉えて、戦略的な経営を実践することが、未来を拓く鍵となるのです。

### 小濱道博

小濱介護経営事務所 代表  
NKK 一般社団法人  
日本介護経営研究協会 専務理事  
C-SR 一般社団法人  
介護経営研究会 専務理事  
一般社団法人介護事業支援協会 理事  
C-MAS 介護事業経営研究会 顧問  
ほか



## 編み物

編み物がお好きな利用者様がバッグ作り  
に挑戦しました。  
「難しいわね」と何度も編み直しながらも、  
編み物ボランティアの方と一緒に取り組み、  
見事に仕上がりました。  
時間をかけて仕上げた分、達成感もひと  
しおです。



## 今月の BESTショット

真剣勝負です



室橋 正晃  
の安心を守るため尽力  
してまいります。

先日、生活安全推進員の総会に出席しました。地域の防犯意識向上に取り組む推進員の皆様と直接顔を合わせ、意見交換を重ねることで、多くの気づきと学びを得ることができました。

総会終了後には「子どもを守る」をテーマとした防犯講習が行われました。令和6年度に県内で子どもが不審者に声をかけられるなどの「不審者認知状況」は396件、そのうち沼田警察署管内では14件でした。発生は登下校時間帯に集中し、発生場所の7割が路上であることも報告されました。実際の事件現場の写真を通じて明らかになったのは、「入りやすい場所」と「見えにくい場所」が共通点だということです。「入りやすい場所」とは不特定多数が利用でき、犯人が入りやすく逃げやすい場所。「見えにくい場所」とは地域の監視力が行き届かない場所を指します。

では、その監視力をどう高めるか。防犯パトロールやカメラの設置など人やお金をかける方法もありますが、誰もができる身近な工夫もあります。落書きやごみの散乱をなくす、樹木を剪定する、地域や自宅前に花を植える、ごみ捨てのルールを守る。こうした日常の行動が、犯罪者に「人の目がある」と意識させ、地域の安全につながるのだと学びました。

「子どもに安全なまち」は「大人にも安心なまち」です。安全な地域づくりには、一人ひとりの防犯意識と協力が欠かせません。生活安全推進員として、地域の安心を守るため尽力してまいります。

## 社長 コラム

安心・安全な  
まちづくり

## 体験見学お気軽にどうぞ!

名胡桃の城(通所介護・通所型サービス)

〒379-1314 群馬県利根郡みなかみ町下津1962-3

TEL 0278-25-3722 FAX 0278-25-3881 事業所番号:1072700873

ホームページ yu-jin-sha.com

Instagram 毎週更新しています。NAGURUMINOSHIRO 遊人舎ホームページ

